



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月11日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 2791 URL http://www.e-dkt.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大村 昌史 TEL 086-435-1100
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 有 機関投資家、証券アナリスト向け動画配信

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	131,787	12.9	3,955	268.3	4,052	204.1	2,488	222.7
2023年5月期第2四半期	116,776	7.0	1,073	△71.4	1,332	△66.2	771	△69.1

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 2,485百万円 (200.2%) 2023年5月期第2四半期 827百万円 (△67.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	178.68	178.64
2023年5月期第2四半期	55.36	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	97,649	51,599	52.7
2023年5月期	97,194	49,518	50.8

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 51,436百万円 2023年5月期 49,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	-	0.00	-	29.00	29.00
2024年5月期	-	0.00	-	-	-
2024年5月期（予想）	-	-	-	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,187	9.1	7,355	63.5	7,452	53.8	4,588	47.2	329.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

2024年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2023年12月までに新株予約権の行使があり、これに伴う発行済株式総数の増加5,000株を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	14,474,200株	2023年5月期	14,474,200株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	545,471株	2023年5月期	545,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	13,928,729株	2023年5月期2Q	13,928,845株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年6月1日～2023年11月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復傾向に向かう兆しがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢やパレスチナ情勢の悪化、為替の影響による輸入品の高騰、エネルギー価格及び物流コストの高止まりなどにより、極めて厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、物価の上昇による相次ぐ商品値上げによって消費者の生活防衛意識は、一層節約志向を強めております。また、各企業においても光熱費、人件費、物流費の上昇も続いており、経営環境は引き続き厳しさを増しております。

このような環境の中、当社グループでは、『魅力ある店づくり6項目』（①価格、②品質、③売場、④活気、⑤環境整備、⑥接客）の徹底をスローガンに、お客様にご支持いただける小売業を目指して取り組んでおります。また、お客様に『安くて新鮮で美味しい商品』を提供するべく、ESLP（エブリデイ・セーム・ロープライス）による地域最安値価格を目指すことに加え、自社開発商品の中身を徹底的に『アナライズ』（分析）し改良を重ねた、『高品質・低価格』な商品（D-PRIDE）を前面に打ち出して展開するほか、自社物流の構築による物流コスト削減、産地からの最短定温物流実現による生鮮食品の鮮度向上を推進しております。さらに成長戦略として、高速多店舗化出店を掲げ、店舗数の増加によって中国及び関西の両センターの稼働率を上げることによりコスト削減を実現しております。当第2四半期連結累計期間において、岡山県、石川県、新潟県、熊本県にそれぞれ1店舗の計4店舗を出店いたしました。そのうち1店舗は100%センター供給の店舗フォーマット（SF0店舗）で出店しており、従来の店舗と比べて出店コストと店舗運営コストの削減を実現しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,317億8千7百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益は40億5千2百万円（前年同期比204.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億8千8百万円（前年同期比222.7%増）となりました。なお、前第2四半期連結累計期間には、2022年8月に本格稼働した関西物流RMセンターの立ち上げ費用等が含まれております。

また、当社グループのセグメントの経営成績につきましては、小売事業以外に、卸売事業、飲食事業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、237億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8千4百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、現金及び預金の増加（86億3千万円から97億4千2百万円へ11億1千1百万円増加）、商品及び製品の増加（83億7千万円から93億2千1百万円へ9億5千1百万円増加）などに対し、その他の流動資産の減少（62億1百万円から39億6千3百万円へ22億3千7百万円減少）などによるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、739億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3千9百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、有形固定資産の増加（598億9千2百万円から605億6千1百万円へ6億6千8百万円増加）などによるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、311億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9千2百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、短期借入金の減少（46億1百万円から42億1百万円へ4億円減少）、支払手形及び買掛金の減少（167億4千9百万円から163億6千5百万円へ3億8千3百万円減少）、その他の流動負債の減少（82億6千7百万円から81億6千3百万円へ1億3百万円減少）に対し、未払法人税等の増加（5億3百万円から18億2千6百万円へ13億2千2百万円増加）などによるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、148億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億1千9百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、長期借入金の減少（119億5千万円から99億5百万円へ20億4千4百万円減少）などによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、515億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億8千1百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の増加（466億2千1百万円から487億6百万円へ20億8千4百万円増加）などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期通期の業績予想につきましては、本日（2024年1月11日）公表の「2024年5月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,630	9,742
受取手形及び売掛金	151	128
商品及び製品	8,370	9,321
仕掛品	146	153
原材料及び貯蔵品	593	599
その他	6,201	3,963
貸倒引当金	△203	△203
流動資産合計	23,890	23,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,209	40,365
土地	9,357	10,110
その他（純額）	10,325	10,085
有形固定資産合計	59,892	60,561
無形固定資産	344	309
投資その他の資産		
建設協力金	1,376	1,380
差入保証金	5,129	5,146
その他	6,620	6,605
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	13,067	13,072
固定資産合計	73,304	73,943
資産合計	97,194	97,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,749	16,365
短期借入金	4,601	4,201
未払法人税等	503	1,826
賞与引当金	581	638
その他	8,267	8,163
流動負債合計	30,703	31,196
固定負債		
長期借入金	11,950	9,905
退職給付に係る負債	41	42
資産除去債務	3,397	3,382
その他	1,583	1,522
固定負債合計	16,972	14,853
負債合計	47,676	46,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	1,823	1,823
利益剰余金	46,621	48,706
自己株式	△881	△881
株主資本合計	49,225	51,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	125
その他の包括利益累計額合計	131	125
新株予約権	52	52
非支配株主持分	108	110
純資産合計	49,518	51,599
負債純資産合計	97,194	97,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	116,776	131,787
売上原価	90,776	101,611
売上総利益	26,000	30,175
販売費及び一般管理費	24,926	26,220
営業利益	1,073	3,955
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	4	4
受取賃貸料	55	58
受取保険金	71	39
受取和解金	165	—
その他	41	56
営業外収益合計	351	171
営業外費用		
支払利息	13	15
賃貸費用	32	31
貸倒引当金繰入額	2	△0
固定資産処分損	—	23
その他	43	4
営業外費用合計	92	75
経常利益	1,332	4,052
税金等調整前四半期純利益	1,332	4,052
法人税、住民税及び事業税	797	1,626
法人税等調整額	△238	△65
法人税等合計	559	1,561
四半期純利益	773	2,491
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	771	2,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	773	2,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	△5
その他の包括利益合計	54	△5
四半期包括利益	827	2,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	825	2,482
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,332	4,052
減価償却費	3,067	3,516
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	57
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	0
受取利息及び受取配当金	△17	△18
支払利息	13	15
受取和解金	△165	—
建設協力金の家賃相殺額	93	93
預り建設協力金の家賃相殺額	△24	△24
売上債権の増減額 (△は増加)	△12	23
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,179	△964
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,245	2,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	449	△383
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△101	609
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	0	△29
その他	7	34
小計	2,241	9,221
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△12	△13
法人税等の支払額	△1,615	△334
営業活動によるキャッシュ・フロー	619	8,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,586	△4,733
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△63	△1
投資有価証券の売却による収入	5	—
資産除去債務の履行による支出	△12	△25
差入保証金の差入による支出	△208	△105
差入保証金の回収による収入	27	63
建設協力金の支払による支出	△26	△85
長期貸付金の回収による収入	7	0
預り建設協力金の受入による収入	—	25
その他	△37	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,894	△4,888
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	4,300	△400
長期借入れによる収入	5,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,353	△2,044
リース債務の返済による支出	△47	△36
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△396	△396
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,501	△2,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,773	1,111
現金及び現金同等物の期首残高	9,540	8,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,767	9,742

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。